地域おこし協力隊通信 Vol.65

いすみ市
地域おこし
協力隊

地域おこし協力隊とは？

　条件不利地域等の地方公共団体が都市地域から地域の活性化に意欲のある人材を「地域おこし協力隊」として受け入れ、地域課題の克服とともに本人の定住化を図ろうというものです。

問合せ　いすみ市地域おこし協力隊
大原庁舎（２階）企画政策課内
☎６２－１３８２
小池　優作
☎０８０－２１３１－４８５３

こんにちは、いすみ市の地域おこし協力隊の小池です！

メインミッションは 有害鳥獣対策

キョンやイノシシなどによる農作物被害などを減らすため、有害鳥獣対策を学び、実践しています。

　昨年一年間は、いすみ市山田でグランピングや狩猟体験を提供している「Hunt＋」にて狩猟を学び、中学生を対象にした狩猟体験を開催しました。

革の利活用を進める

　有害鳥獣をあますことなく、利活用することもはじめています。

　直近では、僕が捕獲したイノシシの革を使い、ベビーシューズの試作品を作りました。

　今後は、ベビーシューズのブラッシュアップや、革小物やバッグなどを作り、市の名物にするべく奮闘していきます。

山のゴミ拾い活動

　いすみ市は自然がとても豊かですが、一歩山に入るとゴミが散乱している場所があります。

　そこで、豊かな自然を守るため、山のゴミ拾い活動をはじめ、現在は月に2回ほど行っています。

　一人で行っている小さな活動ではありますが、いつか少しずつ同じ志を持ってくれる方を集め、みんなで山のゴミを減らす活動をしていけたらと考えています。

地域の困った！を減らす活動「なんでも屋」

　最近は活動の制限のある中、地域の方の「困った！」を減らすべく、「なんでも屋」としての活動も展開しています。

　5月頃から始めた「なんでも屋」ですが、ありがたいことに、すでに50件ほどのお手伝いをさせていただきました。

　今後も継続的にやっていきますので、なにかお困りごとがあれば、お気軽にお電話ください。よろしくお願いします！

写真の説明

①地域おこし協力隊 小池優作さん
②イノシシ革ベビーシューズの試作品
③山のゴミ拾い
④なんでも屋活動での草刈り時の写真